

せたなそして北海道の自然・環境・産業を考える

自然エネルギーセミナー

主催；せたなクリーンエネルギー研究会

共催；NPO 法人北海道自然エネルギー研究会

後援；せたな町，せたな町教育委員会

フクシマ事故以来，自然エネルギーへの転換が求められてきました。

せたな町では，日本最初の洋上風力発電の稼働や温泉の温浴や熱利用など，自然エネルギーの活用が図られているものの，畜産糞尿や森林資源など豊富なバイオマス資源の活用，雪氷・冷熱や小水力利用など，地域にふさわしい循環型社会を志向した取組みがなされるべきものと考えております。

つきましては，せたな町の自然と環境，自然エネルギーを見つめ直し，今後のあり方を考える自然エネルギーセミナーと現地見学会を，日本を代表する研究者・技術者を迎えて下記要領にて実施いたしますので，ご案内いたします。

日 時 2015年10月31日（土）

会 場 ひらたない温泉周辺および温泉ホテルきたひやま

内 容 温泉施設等見学会および自然エネルギーシンポジウム

日 程 12：10～ 開会式（温泉ホテルきたひやま駐車場）

12：20～ 平田内及び貝取潤温泉源泉・温泉熱利用アワビ中間育成施設・海洋深層水の供給施設見学

引率者；藤本和徳氏（元北海道地質研究所長）

16：00～ 自然エネルギーセミナー（温泉ホテルきたひやま）

第1部；基調講演

「北海道のバイオマス活用の現状と今後の展望」

松田従三氏（北海道大学名誉教授）

「北部檜山の地熱・温泉資源とその利用」

池田隆司氏（北海道大学名誉教授）

「雪氷冷熱利用のエネルギー的意義と今後の普及可能性」

浦野慎一氏（北海道大学名誉教授）

第2部；パネルディスカッション

「せたな町の自然エネルギー活用」

パネラー；松田従三氏・池田隆司氏・浦野慎一氏・藤本和徳氏

内田尊之(せたなクリーンエネルギー研究会会長)

コーディネーター；日下 哉(前東京農大教授)

参加料 無 料

19：00～ 交流会（温泉ホテルきたひやま，参加料5000円）

問合せ 内田尊之 Tel; 0137-84-5173(内田建設) E-mail; uchida21@ninus.ocn.jp

日下 哉Tel; 011-841-1466(土質コンサル) E-mail; h3kusaka@bioindustry.nodai.ac.jp